

4・27

自治会
文連

大学に学費減免求める要請書提出

自治会
ニュース

発行

自治会
執行委員会

今回の記事

4月27日、
自治会と文化団
体連合会が大学
に要請書提出

すべての国学院大生のみならず。私たち自治会執行委員会は、文化団体連合会幹事会とともに4月27日正午に、大学・学生部に対して要請書を提出しました。

要請の概要は以下の通りです

要請書の概要

一、学費の軽減・免除について

学生のアルバイト収入の減少や、親の解雇・賃下げによる学費を工面することができない本学学生に対して、学費の免除・軽減措置をとることを強く求めます。また学費の納入期間の延長を求めます。

一、全学生への給付金の支給を求めます

いま、数々の大学が、学生への給付金の支給を開始しています。本来ならば国がおこなうべきことではありますが、政

府が学生への支援策をまったくくちだしていない現状に鑑み、生活に苦しむ全学生への支援金の給付を求めます。

一、「新型コロナウイルス感染症対策奨学金」を設置することを求めます

学費や生活費の捻出に苦しむ本学学生を支援するために、「新型コロナウイルス感染症対策奨学金」を設置し、苦しむ本学学生への支援を求めます。

一、新型コロナウイルス感染症に感染した(可能性のある)学生への救済措置について

新型コロナウイルス感染症に感染した、あるいは感染した可能性のある学生が不利益を被らないために、こうした学生が授業を欠席した場合には、公欠扱いとすることや試験の別日実施、単位認定などの救済措置をとることを求めます。

一、オンライン授業を受講するための要請

現在学生の中には、PCやWi-Fiを所持していない人がいます。また学生・父母の経済状況が苦しくなっている中で、機材の準備や通信料が高額になると学生・父母の経済状況をさらに悪化させます。私たちは本学の全学生が、経済的に心配することなく授業を受講できる措置をとるこ

とを求めます。

一、「団体継続届」について

現在サークル・部活動に新入生を勧誘することができません。またキャンパスが封鎖されているため顧問の先生・職員の方との接点もつくれません。こうした中で今後のサークル・部活動の運営に関して不安を抱えるサークル・部会も少なくありません。私たちは毎年五月末日に提出している「団体継続届」の提出期限の延長や手続きの簡素化などの措置をとることを求めます。

一、二〇二〇年度新入生歓迎行事について

私たちは、二〇二〇年度新入生歓迎行事を何らかの形で保障することを求めます

一、内定取り消しを受けた本学学生への支援

新型コロナウイルス感染症の影響で内定を取り消された学生・卒業生に対して、キャリアサポート課が、手厚く支援することを求めます。

みなさん。私たちは要請書を提出したことにふまえて、大学と交渉をおこなっていきます。すべての国学院大生のみなさん。私たちは今後とも団結して、学生生活、自治・サークル・部活動を守り・発展させるために頑張っていきましょう。私たち自治会執行委員会はみなさんの最先頭で、奮闘する所存です。

以上

二〇二〇年四月二十七日